

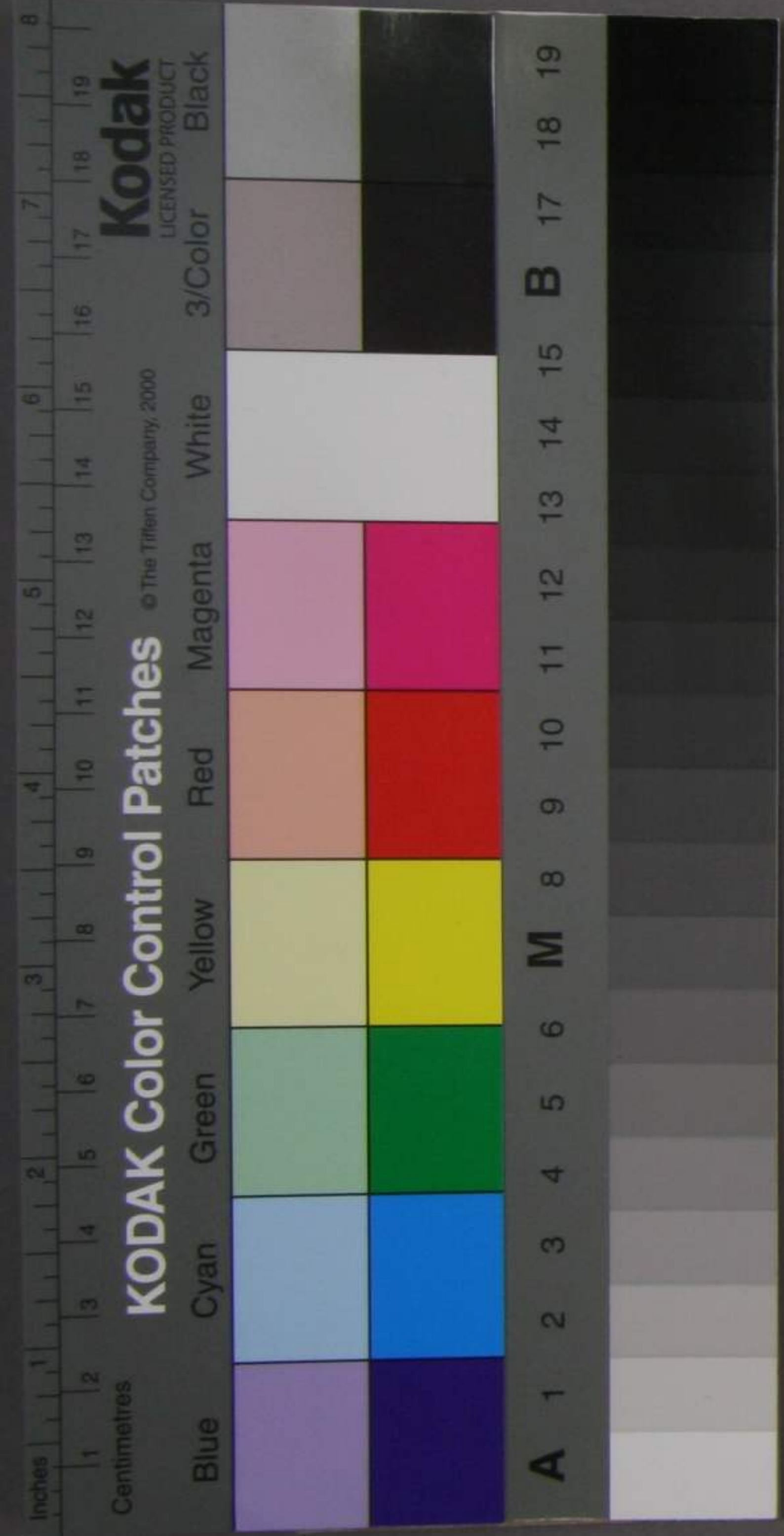
114
A1633



歳入出區分比較表略言

此表ハ明治一年以降六周年間ノ歳入出ニ
就テ其醇正ナルモノト其別途異常ニ属スルモノト
又其重複ニ係ルモノトヲ區分シ以テ假ニ甲乙丙ノ三
科トス而シテ其實際ノ出納ニ至ラハ始ヨリ彼科
ノ羸余ヲ以テ此科ノ不足ヲ補カ如キノ制規アル
ニアラス彼此混一廻轉流融以テ歳計ヲ總理スル
モノナリ然レ氏今其區域ヲ分チテ増減盈縮ノ數
ヲ示スニ非サレハ歳費ハ何ノ用ニ最モ多クは債ハ
何ノ為ニシテ生スヤ否觀ル者ヲシテ瞭然知悉シ易
カラサラシム是レ此表ノ他ト其体裁ヲ異ニスル所以
ナリ而シテ各科中ノ細目ヲ左ニ掲出シテ又其區
分ノ拠ル所ヲ説明ニス

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄



甲科第一ノ部

通常歳入

租税 海関税 関港場諸税

生糸及蚕種税 酒類及炭油税 諸印紙税

雑税 鑛山收入 製鉄所收入

汽車收入 電信收入 雑入

川ノ國役金

此一項近歳ニ至テ之ヲ廢スト虽モ六年ニ至ルマテ年
年定メテ收入スルモノトス故ニ此費中ニ置ク

通常歳出

大改官及諸官省 三都裁判所 三府

関拓使 各所民政局 関港場府縣

諸縣

以上各廳經費ノ内ニシテ暴動及ヒ興業臨時
等ニ属スルモノ務テ之ヲ分割シテ下ノ費目ニ挿
入ス然レモ其費目ノ詳悉ナラサルモノニ至テハ其
混入ナキヲ確保シ難シトス驛遞司ノ軍器ヲ運
搬スルカ如キ是ナリ

沿河使 諸藩預所及取締所 神宮寄付

祭典費 献艦入費 艦船修繕費

貨幣鑄造

鑄造費ハ貨幣改正上ヨリ之ヲ視レハ之ヲ宜ク創業
費ニ收ムヘキカ如シト虽造幣寮建築費トハ其
類ノ稍異ナルノミナラス年々相継テ今日ニ至ルマテ
其費用ヲ要スルアルヲ以テ之ヲ通常費ノ中ニ挿
入ス

恩賜

官祿及諸手當

旅費宿代及官宅料

此旅費中ニ暴動鎮撫ノ為ノ或ハ軍事ノ為ノニ
汎遣セシ官吏ニ給スル所ニ係ルモノナキヲ保セスト虽
モ今之ヲ區分スルニ由ナシ

賜饌料

官省其外官繕

地方廳及宦舎官繕

器械及銃炮買上代

此買上代ノ内ニ於テ一時征討ノ用需ニ供スル銃
器及造幣紙幣ノ用ニ充ル諸器械ノ購入
費ヲ除キ其概ニ通常ニ係ルモノノミヲ計出ス

回米諸費

雜出

隈防修築

養老賑恤

此賑恤中ニ伏水ハ幡等ノ兵禍ニ罹ル窮民ニ
給スルモノ、類アリト虽モ一々分劃スルニ由ナシ

北海道警衛費各藩渡

此費用ノ如キ宜ク臨時ニ属スヘキカ如シト虽氏
其諸藩ヲ使シテ該地ヲ分管セシメハ曰政府
ノ遺制ニ因ルモノニシテ未ダ開拓使ヲ設ケサル
以前ノ諸費ニ属スルハ其實地方常務ノ用ニ
外ナラス故ニ之ヲ茲ニ挿入セリ

東京府上下水修繕費

家祿

賞典祿

此賞典祿征討ノ功勞ヲ賞シ維新ノ勲績ニ
酬ルニ係ル故ニ戡亂費ニ属スヘモノニ似クイト虽
モ各年支給スルニ由リ視テ通常ト做サシ得ズ
故ニ茲ニ挿入ス

社寺給與

諸向扶助

此扶助ノ如キハ戊辰己巳ノ際家祿未定ナルモノニ
給スル所ニシテ其實家祿ニ異ナラサルヲ以テ茲

ニ掲上ス

甲科第二ノ部

臨時歳入

軍資 大宮御所造管国役金 地所拂下代
 牧牛馬拂下代及其税金 各種賣拂代
 贖贖及没收 貸下金利息 臨時雜入
 献納 諸益金 諸藩上納金 準備ヨリ繰入
 旧幕倉庫有高 旧銅坐有金 旧幕引送
 旧藩旧旗下引送 引員金追徴

臨時歳出

此歳出ヲ更ニ大別シテ三費トスル左ノ如シ

○創業費

此費ハ九事業ヲ宏張シ文明ヲ進持スルカ為メ用需

ニ供スルモノヲ分割シテ茲ニ計上ス而シテ諸官省ノ
 經費年々増加スルカ如キ比竟事業ヲ宏張スルカ
 為メニ非サルハナシ然レ其費遂ノ區域判然分ツヘ
 カラサルニ由リ茲ニ計上スル所ノモノハ拙リ其費
 目ノ明カナルモノニ止ルノミ

鑛山 製鉄所 電信 郵便 鉄道
 器械買上 船艦買上 燈明臺建築
 紙幣製造 造幣寮

此一項ハ造幣費ト相照シ之ヲ通常費中ニ挿入
 スヘキニ似タリト虽モ抑モ紙幣ヲ製スルノ本意
 富強ヲ圖ルニ在リテ其事タル年々常ニ有
 ヘカラサルヲ以テ之ヲ此費目中ニ置ク

造幣寮建築 外国人給料 洋行費

此一項ハ全權大臣及理事官等ノ歐米ニ赴ク
ノ用途ナリ然レ氏是亦官省經費ノ中ニ包藏
シテ其目ノ詳カナラサルモノニ於テハ茲ニ溯如ス
遣外生徒給

此一項モ亦諸官省ノ經費ニ包孕ニ得テ知ル
ヘカラサルモノニ至テハ前項ニ全シ

○戡亂費

此費ハ九ノ軍需ニ係ルモノヲ計上ス

征討費 箱館追討費 鎮臺府 鎮將府

器械及銃炮買上 按察府 降伏人諸費

救助 初度御東幸 大阪行在所入費

以上二項ノ如キハ專テ親征ノ為ナルヲ以テ是ヲ此
費目中ニ收ム

諸藩特別賜 臨時賞典

以上二項ハ戦功ノ為ニ賜ルモノニ係ル故ニ前
項ニ全シ

暴動諸費

此項ハ長野生野日田等沸騰ヲ鎮定スルノ
費途ヲ集計スルモノナリ

○異常費

此費ハ固ヨリ通常ニ属スヘカラサルモノトス然レ居上ノニ
費ニ挿入スヘカラス故ニ別ニ此目ヲ舉ク其小目ハ左
如シ

大宮御所造営 茶明宮造営 轉封手當
領地物成不足渡 邸宅移轉料 御即位費
外国王子接對費 雜出 十津川郷士賜給

外国債利息拂

一時借入金利息拂

新旧公債償却並利足拂

外国償金

此一項ハ下関事件ニ係ルノ類是ナリ

準備ニ挿入

乙科ノ部

別途歳入

此歳入ハ即チ通常歳入ノ不足ヲ補フモノナルニ因テ
之ヲ臨時歳入ト同視スヘキニ似タリト虽モ他日償還
セサルヘカラサルモノニシテ其性質全ク他ト異ナリ故ニ之
ニ冠スルニ別途ヲ以テス

紙幣発行

大政官札民部省兌換證券ヲ發行スルモノヲ云フ
但シ開拓便ノ兌換證券ハ其発行ノ旨趣他ト異ナ
ルヲ以テ之ヲ陳キ新紙幣ハ交換ノ用ニ造ルモノニシ
テ單行発行出ルヘカラサルモノナリト虽モ廣澤置縣

ノ際ニ多ク用度ノ乏ラ告ルカ為メ特例ヲ以テ
出スル所ノ若干万圓ヲ算入ス

外國借入金

此債ノ前後二度龍動ニ募ルモ是ナリ
一時借入金

内國人民或ハ東洋バンク等ヨリ一時借入シモノ
ナリ

諸貸下金返納

此項ハ即チ別途歳出第四項ニ於テ旧高司^法通商
司及諸會社其他人民等ニ貸下タル金穀ヲ返納
返納スルモノ及外國債追徴金ノ類ナリ

別途歳出

此歳出モ臨時歳出ノ一部分ニ似タリト虽氏前ノ歳
入ト相對映シテ相離ルヘカラナルヲ以テ同レク別途ノ
字ヲ冠ス

紙幣支消

此項ハ別途歳入ノ第一項ニ對スルモノニシテ其
嚮ニ差出セル紙幣ヲ支消スル所^紙如ラ挙ルナリ

外國債償却

此項ハ第二項ノ歳出ニ相對ス但茲ニ計上スル所
ノ金員ハ其元金償却ノミニシテ利子ノ如キハ之ヲ
臨時歳出ノ部ニ加ヘ茲ニ加算セサルモノハ蓋シ始
メ借入タル原額ニ對シテ其差引ヲ見ハサニカ為
ナリ

一時借入金償却

此項ハ第三項ニ對スルモノニシテ其利子、如キ亦
前項ニ同シ

諸貸下金

此項ハ第四項ニ對スルモノニシテ即チ政府ヨリ他ニ
貸スモノ所謂石高持借勸業資本及ヒ田諸
藩ノ人民外國ニ負フ所、債金ヲ政府ヨリ一時持
替ルノ類ノ如キ是ナリ

丙科ノ部

重複歳入

此歳入ハ下ノ歳出ト相對シ彼ニ出レハ此レニ入リ此レニ
受レハ彼ニ持フニ過キスレテ歳計ノ増減ヲナスモノニ非ス
ト虽氏其出入毎^年ヲ經テ漸ク完結ニ至ルカ故ニ此ノ重
複歳出入ヲ末尾ニ置テ年々殘贏金ノ若干ナルヲ明
ニシ又以テ全計ノ実況ヲ見ルニ便ニス

鑄造成貨受入 銅賣持代 物産賣持代
假細及假渡返細 回送承金受入 支拂受入
ノ類ナリ

重複歳出

貨幣地金渡 貨幣材買入代 物産買上代
假渡及假細下戻 回送本金拂出 交換拂出
ノ類ナリ

本表并付表略解

本表ノ様式ニ就テ今六年合計ノ區ニ假數ヲ設ケ試ニ
會計ノ景況ヲ言シ又甲ノ歳入出ヲ視ルニ通常費ノ
通常歳入ニ於ルハ稍餘裕アリト虽氏臨時ノ出如キハ
相償ハサル數万ニシテ其缺乏年ヲ累テ終ニ此會計ニ掲ル
如キ巨大ノ數ニ至レリ是則紙幣ヲ發行シ内外借入金ヲ
以テ補ハサルヲ得サル所以ナリ

此ノ別途歳入ヲ視ルニ紙幣發行内外借入ノ金ニ貸下ノ
返納トテ保セテ壹億貳千三百七拾万円アリト虽氏其内ヨリ逐
年償却及ヒ貸下ヲナセシ姿ナルニヨリ其差引即チ表上見ル
如ク四千六百貳拾万円ヲ餘セリ此餘金ヲ以テ甲ノ不足四百
三拾万丙ノ不足四拾万ヲ充補シテ尚殘餘金百五拾万ヲ

見ルヲ得タリ、是レ蓋シ合計上ニ於テ觀ル所ノ大勢ニシテ細
ニ實際出テノ状ヲ繹ルレハ初年二年ノ如キハ別途歳入即チ
發行ノ紙幣ヲ以テ特ニ甲ノ不足ヲ補フノミナラス右高持借
及ヒ通商司等ニ貸渡スモノ、如キ蓋シ亦斷シトセス且ツ細
貸ニ金ノ性質ヲ分拵スルハ梳子救荒賑恤投産ノ類、
係ルト虽モ金額ノ巨大ナルモノニ於テハ戊辰以來諸藩ニ分與
セシ右高持借及通商司通商司ノ貸渡金ヨリ大ナルハナク
殆ント左數十分ノ八九ニ居レリ均ク是貸下ニ屬、ト吳氏當時
ノ實況ニ批レハ皆維新創業ノ基礎ヲ翼ル者ニシテ緊要ノ
資本ト云ハサルヲ得サ、者ナリ

合計 各數ニ因テ又副表ヲ作り政府ノ負債ニ屬スル者ト
存在所自 貸付金モ此
中ニ算ナスニ係ル者トテ掲ケ以テ其取状如何ヲ
表シ其結局ヲ約言セントス第一區ハ紙幣發行及外國債

未済ノ數ヲ比較合計シ之ヲ負債ノ額トス則チ本表乙部ノ
田實下金ヲ除却セシ者ニ係ル第二區ハ本表六周年末ノ殘
金トテ計算下金ノ込納ヲ陳算シタル未納ノ數及丙部重
積ノ入出ヲ加減シ其不足ノ數他日段ノ一キモノトテ右計シ之ヲ
存在セル金額トス而シテ其第一ノ負債金ハ千貳百三拾万円
ノ内第二ノ存在金三千八百拾万円 其實際ニ於テハ貸付金ノ棄捐ニ
屬シ又ハ交換ノ根拠ヲ生スルノ類
ノ如キ多ク増減ナキ能ハカルモノナリト虽モ
今試ニ假數ヲ示ス由リ必ズシモ詳算セスヲ減スレハ残り四千四百貳拾万
円トナル則チ負債ノ實額ニシテ本表甲部ノ不足右計ノ數ニ對同キ
ニテ又言スレハ臨時歳出ノ多キカ為メニ竟ニ此負債ヲ生シタル
モノト云フヘシ故ニ此不足ノ數ヲシテ若シ現實ノ金円ヲ得セルレハ
第二ノ存在金ヲ併セラ第一ノ負債金額ヲ償ヒ毫モ加損ナ
カラレムルニ至ルベシ

但單ニ此歳入出ニ就テ之ヲ觀レハ本表ニ云フ所ノ如ク巨大ノ負債アリテ

價ノヘキノ目達ナキカ如シル並ニ別ニ準備ニ存在スル兌換証券ノ抵
當一千万円及ヒ其他ノ金額ノ如キハ其負債ノ幾分ヲ償填シ
得ヘキモノトス因テ茲ニ略言シ亦又言外ノ意ヲ補フ